





参考：鷲田清一氏
 「折々のことば」
 (2022. 9.24)より

「ころざしが胸に生まれれば・・・自分を照らしてくれる光りになるのよ。時間がかかるでしょうけれども、自分の灯は自分でつけないと」(山根基世)
 ・・・・人と対等に意見を交わす態度が成熟していないと気づき、こどもの話し言葉を育む活動を始めた。やっと自分のすべきことが見えた。
 インタビュー「ころざしって何だろう？」(「暮らしの手帳」5世紀20号)から